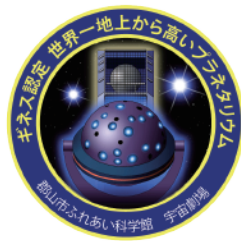


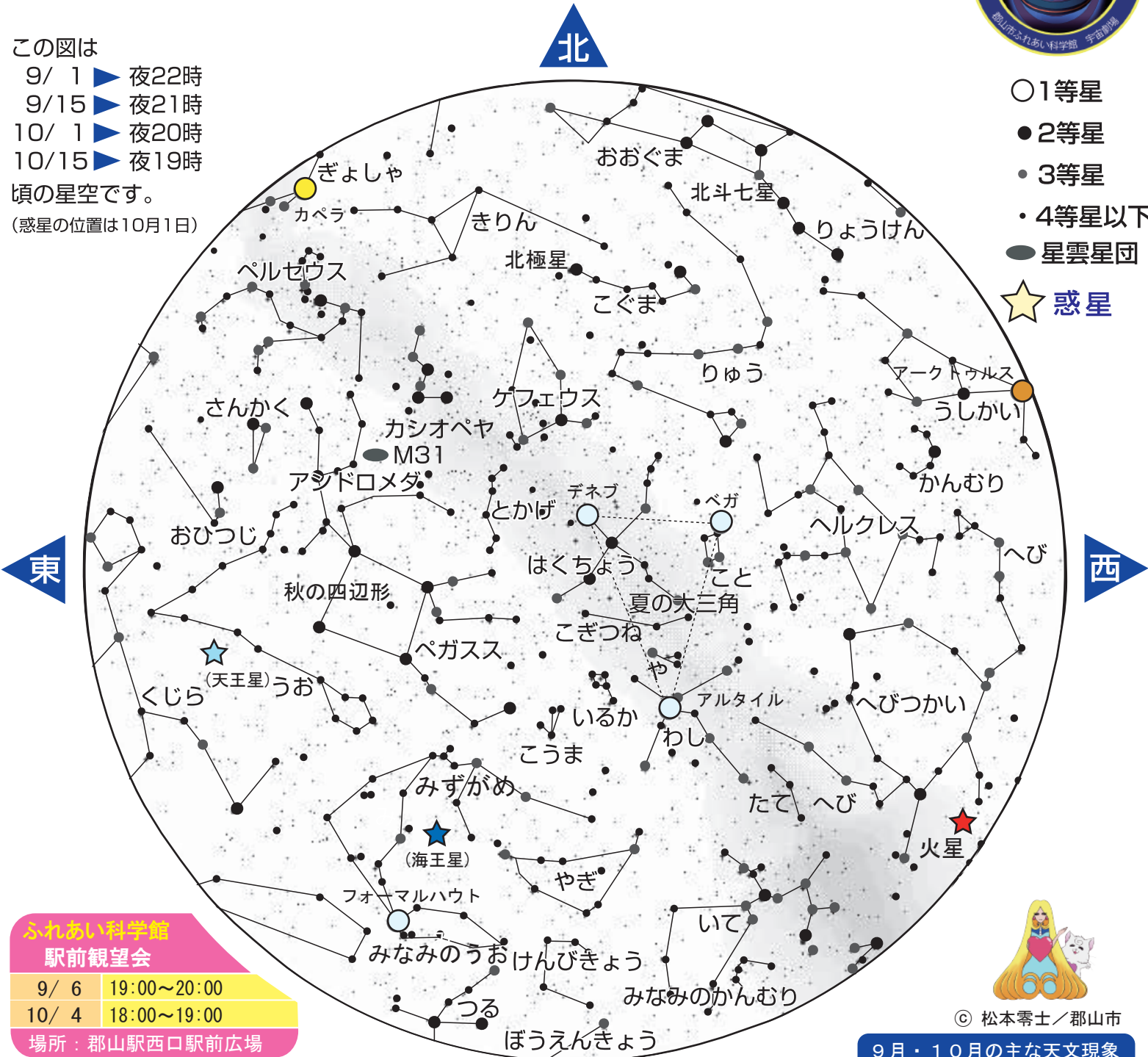
2014年

9月▶10月の星空



この図は
 9/ 1 ▶ 夜22時
 9/15 ▶ 夜21時
 10/ 1 ▶ 夜20時
 10/15 ▶ 夜19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は10月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館
駅前観望会

9/ 6 19:00~20:00
 10/ 4 18:00~19:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

9月・10月の主な天文現象

9/ 8	中秋の名月
9/23	秋分の日
10/ 6	十三夜(後の月)
10/ 8	皆既月食

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け	
9/ 1	5:12	18:10	新月	9/24, 10/24
9/15	5:22	17:50	上弦	9/ 2, 10/ 2
10/ 1	5:35	17:27	満月	9/ 9, 10/ 8
10/15	5:46	17:07	下弦	9/16, 10/31

※上弦、下弦は半月です。
 ※天王星、海王星は肉眼では見えません。

夏の暑さも少しずつ和らぎ過ぎやすい時季になり、星空も夏の星から秋の星へと移り変わっていきます。この秋は月に関する天文イベントがたくさんあります。秋の定番である「お月見(中秋の名月)」は、今年は例年よりも早く9月8日になります。満月1日前の少しだけ欠けた月を眺めてみましょう。9月28日のお昼には細い月に土星が隠される「土星食」があります。望遠鏡でないと見ることはできませんが、夕方には月と土星が並んでいるのを楽しめます。10月6日は「十三夜」というお月見の日となります。日本では一度だけのお月見は縁起が悪いと言われる中秋の名月の後に十三夜のお月見をする風習がありました。この時の月の形は栗のような形をしていることから「栗名月」とも呼ばれます。そして、10月8日には日の入り後の東の空で皆既月食が見られます。18時過ぎから少しずつ欠け始め、19時半から20時半ごろまで皆既(月が地球の影に完全に入ってしまう状態)になります。皆既中は月が赤銅色の珍しい姿を楽しむことができます。観察しやすい時間帯ですのでぜひご注目ください。今年の秋は月の見どころが満載です。月の形が毎日変化する様子も面白いものです。月が最もきれいに見られるこの時季、月と星空を楽しみましょう。

